

▼ゾスパタ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】ギルテリチニブ フマル酸塩 Gilteritinib Fumarate 【分類】抗悪性腫瘍剤 [FLT3 阻害剤 (TKI)]

【単位】▼40mg/錠

【常用量】120mg/日 [最大200mg/日]

●減量基準により40mg ずつ減

【用法】1日1回

【透析患者への投与方法】

HD 患者の AML に 120mg/日の適用後、血球減少、FN となった症例 (Tollkuci E, et al: J Oncol Pharm Pract 2021 PMID: 33175659)

【保存期 CKD 患者への投与方法】

【特徴】再発又は難治性の FLT3 (FMS-like tyrosine kinase 3) 遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病に適用されるチロシンキナーゼ阻害剤。FLT3 遺伝子変異陽性を確認された患者に適用。

【主な副作用・毒性】QT 延長、骨髄抑制、出血性合併症、肝機能障害、腎機能障害など

【安全性に関する情報】QT 延長のモニター (1) 用量制限毒性は TLS, LDH・アミラーゼ・CK 上昇, 失神 (Usuki K, et al: Cancer Sci 2018 PMID: 30039554)

【吸収】ka=0.43/hr (1) 食事の影響を受けない (James AJ, et al: Clin Pharmacokinet 2020 PMID: 32304015)

【F】88%以上 [イヌ] (1)

【tmax】

【代謝】CYP3A4 で代謝 (1) 代謝物 3 種の血中存在率いずれも 10%未満 (1)

【排泄】尿中未変化体排泄率 13.11%以下 [po] (1) P-gp の基質 (1)

【CL/F】14.85L/hr (1)

【t1/2】113hr (James AJ, et al: Clin Pharmacokinet 2020 PMID: 32304015) 84~126hr (1)

【蛋白結合率】約 90% [Alb] (1)

【Vd】1100L/man (1)

【MW】1221.50

【透析性】資料なし (1) 除去率は低いと思われる (1)

【OW 係数】

【薬物動態】線形動態 (Usuki K, et al: Cancer Sci 2018 PMID: 30039554)

【相互作用】P-gp の基質で弱い阻害剤 (1) BCRP, MATE1, MATE2, OATP1B1, OCT1, OCT2 を阻害 (1) CYP3A4, P-gp 関連の相互作用あり (1) QT 延長の相対的影響に注意 (1)

【肝障害患者への投与方法】

【小児 CKD 患者における報告】

【妊婦・授乳婦への投薬】

【主な臨床報告】

【更新日】20220818

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。